

慢性閉塞性肺疾患患者における血清学的マーカーと臨床経過に関する後方視的研究

2016 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日に慢性閉塞性肺疾患の急性増悪の治療のために入院した患者さん

研究協力をお願い

当科では「慢性閉塞性肺疾患患者における血清学的マーカーと臨床経過に関する後方視的研究」という研究を行います。この研究は、2016 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日までにかわぐち心臓呼吸器病院呼吸器内科にて、慢性閉塞性肺疾患の急性増悪の治療のために入院した患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：慢性閉塞性肺疾患患者における血清学的マーカーと臨床経過に関する後方視的研究

研究対象期間：2016 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究実施期間：2026 年 7 月 17 日～2028 年 3 月 31 日

研究責任者：かわぐち心臓呼吸器病院 呼吸器内科

(2) 研究の意義、目的について

慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、主に長年の喫煙などが原因で肺に炎症が起こり、息切れや咳、たんなどの症状が続く病気です。症状が急激に悪化すると入院が必要になることがあり、その後の回復や生命予後に大きな影響を及ぼすことがあります。

現在、COPD 患者さんの重症度や今後の経過を予測するためにさまざまな方法が用いられていますが、通常の血液検査から得られる情報だけで予後を正確に予測する方法は十分には確立されていません。近年では、血液検査から計算できる FIB-4 や SII といった指標が、病気の重症度や予後と関係している可能性が報告されています。

本研究では、COPD の急性増悪で入院された患者さんの診療情報や血液検査結果を用いて、FIB-4 や SII などの指標が入院期間や退院後の経過、生存期間などとの関連性を明らかにすることを目的とします。この研究により、COPD 患者さんの重症化リスクや予後をより正確に予測できるようになり、将来の診療や治療方針の改善につながることを期待されています。

(3) 研究の方法について

2016 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日までに、かわぐち心臓呼吸器病院呼吸器内科にて COPD（慢性閉塞性肺疾患）の急性増悪で入院された患者さんを対象とします。

通常の診療で得られた電子カルテ情報や血液検査結果、画像検査結果、治療内容などを用いて、血液検査から算出される FIB-4 や SII などの指標と、入院期間、退院後の経過、生存期間などとの関連を解析します。

この研究のために、新たな採血や検査、治療を追加で行うことはありません。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 問い合わせ等の連絡先

かわぐち心臓呼吸器病院 呼吸器内科 石割菜由子

〒333-0842 埼玉県川口市前川 1-1-51

電話番号：048-264-5533（代表）

メールアドレス：info@kheartlung.jp